



ロズバーク  
日客本  
知事局  
九月十日  
金曜日  
第一号

### 歐洲大陸戰一般

#### 英佛英獨露地戰現況

倫敦月P. 露電によれば、マダガスカル島、建民地、長官アーマンド、シネックトが独断を以て英軍と媾和せんとすに對し、佛政府は断然反對する云々に對して、英政府は最後まで防戦と宣言し、英軍は奮然とした。又、ルース面は、大々空軍を遣つた。英海軍は、九月、失つた水之は、六月廿五日、ブレムゼン、露艦五十二隻を失つた。英艦と戦つた。又、L.P. 露電に、仍れば、昨日、ロズバーク市内に侵入した。独逸軍は、西之赤軍、鏡劍隊は一騎打ちの格闘市街戦も、獨逸軍は侵入軍を掃蕩した。然し、獨逸軍は、流石に、獨逸軍は、屋根の上、椽の下、諷無く到る所、人々と無戦中である。最初の市街戦に於

独逸は、タック五十四台、大砲廿一門、軍用自動車、土台失つた。又、高架索ムズドク方面には、独逸軍は、八百の戦車と三百人の戦死者とを犠牲にして、苦戦せし、戦は、あるノホロー、ミスタ、軍港、ゲリウ、戦艦、兵一大隊を失つた。ボリス、方面、激戦中なり。

### 知事局より

郵便規則に於ける注意  
封書の通信欄の上端に各自の姓名とセリル番子を記入し、その名称地点を認める点によく注意し、ある場合は、認められ、封書の場合は、封書と合符に入ると、端の通信欄に、先方の姓名住所を書かぬべし。  
封書又は友人からの紙にして、發行人の姓名住所明記なき場合は、諸君に配達せらるべき後、投書せられ、姓名住所を記入せらるやう申送らるべし。  
一月一週以上の手紙(封書を含む)を出さざること。  
土曜日に却下された郵便は、ウイキの翌日、加ふるから、金曜日に所定、投書せらるべし。  
インターニーに於ける郵便條約は、陸軍省令であり、僱官の自由乗量と、封書、備子(ラバスタンプを利用せよ)。

### 布哇たより

布哇の未定年者、八千四百枚の雇、用証明書が、労働法、履行局、量部、から、去る、七月中、ト、發給、され、た。係官、ロバート、アール、ソート、氏、の、聲明、によれば、昨年度、比較、し、本

### 笑話

其、式、の、し、や、し、ん、を、撮、つ、て、お、も、と、一、陣、の、風、が、吹、い、て、來、た。すると、白人、の、馬、と、奥、屋、が、急、に、ヤ、カ、ン、ア、タ、マ、に、なる、大、切、な、カ、ラ、ウ、が、風、の、い、た、ら、に、吹、か、れ、た、と、い、つ、た。これ、は、四、南、四、面、會、集、者、が、笑、い、出、し、そ、う、い、つ、た。悲、し、む、遊、戯、者、が、笑、つ、つ、し、ま、つ、た、と、い、つ、た。(實話)

年度は、二千八百五十の増加を示して、あると云ふが、オアフ島では、大、多、數、の、製、糖、場、に、雇、用、の、者、を、送、つ、た、が、以、處、には、十、六、歳、以、上、の、は、生、約、二千四百人が、身、期、仕、事、を、得、て、お、る。他、島、に、於、け、る、未、定、年、者、の、真、數、は、雇、用、も、亦、増、加、し、た、其、率、は、布、哇、島、五、〇、〇、パーセント。馬、哇、島、三、〇、〇、パーセント。加、哇、島、八、〇、パーセント。と、い、は、る、勞、働、者、需、求、の、差、に、高、し。

### 病院より

入院者、木、茂、(廣、島)、村、田、賢、馬、(山、口)、村、田、實、山、(山、口)

### 大阪府人懇話會

今、十、日、午、後、八、時、より、萬、土、中、隊、社、交、室、に、於、て、懇、話、會、を、催、す、こ、と、に、決、り、ま、し、た。凡、府、人、の、ほ、れ、な、き、而、出、席、を、乞、ふ、と。

### 拾い物

電、甲、の、縁、の、老、眼、鏡、を、公、堂、に、拾、い、取、り、目、下、知、事、局、に、於、て、保、管、中、に、あ、り、の、者、は、申、出、で、あ、り、た、し。

同病相憐む 村田松翠  
髪、つ、ら、な、な、け、な、の、毛、を、櫛、か、つ、り、凡、の、ま、に、頭、押、へ、て

問、ま、た、こ、の、時、計、が、な、く、な、つ、た、と、か、品、物、が、無、く、な、る、と、は、ど、う、し、た、事、か、答、え、フ、ビ、ー、アイ、が、見、ス、テ、キ、し、て、連、水、を、来、こ、い、ま、し、ま、し、た、が、却、り、美、張、日、本、人、の、屑、も、混、じ、る、わ、い

